

令和 7年 3月10日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：デイサービス どんちっち
施設種類：地域密着型通所介護 通所型サービス
会議開催日時：令和7年3月8日（土） 16時～17時
開催場所：デイサービス どんちっち
出席者

：6名
（人数）

利用者	1人	有識者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2人

【出席者紹介】

【前回開催（9月）以降の活動状況の報告】

どんちっち便り等を閲覧しながら、行事や日々の様子を報告。

【利用状況報告】

先月（2月）の利用実績の報告

【苦情、事故・ヒヤリハット報告】令和6年9月～令和7年2月

それぞれの事例の状況と対応、今後の対策を報告した。

- ・転倒・・・0件
- ・服薬持参忘れ・・・2件
送迎前のミーティング時の確認を徹底する、送迎時のメモに記入する。
- ・服薬忘れ・・・1件
報連相の徹底
- ・考察

年度後半は事故なく過ごせたことをありがたく思います。職員の入れ替わりもなく、落ち着いて業務が出来ているためとも感じています。フォロー体制が自然に行われており、複数の職員が気にかかる事で未然に防ぐ事が出来ているのではと推測しています。

その反面、服薬についてはヒヤリが3件もある為、送迎前の薬内容の確認を行い、不意の

薬処方時の連携等を忘れず、報連相の徹底を今後も行うようにしていきたい。

【その他】

○現在の職員構成（管理者以外）

常勤 介護職員2名（生活相談員、調理員含む）

非常勤 看護職員0名 介護職員5名（生活相談員含む）

【意見交換等】

○ご意見

赤字経営が続いている現状について

（有識者より）

稼働率70%というのは居宅介護支援事業所を持たない単独デイサービスにしては良いと思う。しかし『赤字』というのは継続が難しくなってくるので早急に改善が必要。

提案として、定員を増やす（10名以上になると看護職員が必要）、『泊りサービス』を行う（スプリンクラー等の設備費の負担、職員の確保難、リスク増）

食費を4月から上げるが、このまま上げ続ける事は利用者さんへの負担が増えるばかりで、利用控えも起こり得る。益田市が配食サービスの負担をするのと同様にデイサービスの食費もいくらか負担するようなことは検討してもいいのではないか。

（市職員）

業務の効率化を進める（タブレット使用等）、手話のできる職員を配置してはどうか（少数の需要はある、他との差別化）

（地域住民）

米の仕入れ先などを探してみてもどうか。

（利用者）

私は配食サービスを利用しているが、それと比べてどんちっちの食事はいつも違ったメニューでとても美味しく感心している。今後も続けてほしい。